



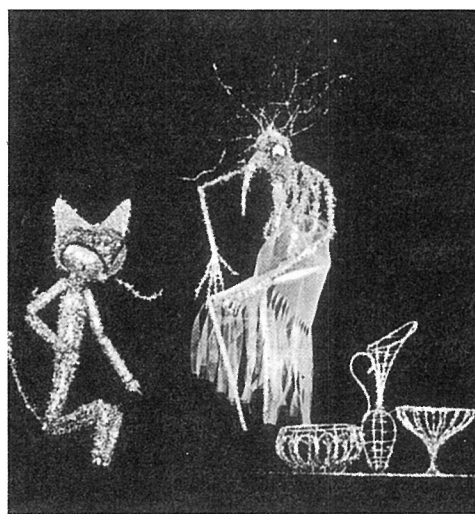
発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
上郷町黒田 22-5353

人口	6,195人
男子	2,976人
女子	3,219人
世帯数	1,720戸
(63年10月末現在)	

大入満員過去最高 人形劇カーニバル'88 大好評!!

夏恒例の人形劇カーニバルが去る八月四日から五日間に亘って開催された。竜丘地区でも上演会場数、ワッペン販売数、述べ観客者数など数字の上でも過去最高を記録。また各上演会場では、演じ手、観客の垣根を越えた心温まる交流の輪が広がり、人々の心に今夏の貴重な思い出を刻んだ。

第十回人形劇カーニバルが去る八月四日〜八日まで五日間に亘って開催された。今年は特に人形劇のオリジナルともいえる世界人形劇フェスティバルが併催され三十一カ国から四百人を超す海外劇人の参加があり、国の内外から約二千二百五十名の劇人が集い、観劇者数も過去最高の七万九千人を数える大盛況の内に幕を閉じた。



海外劇団による様々なジャンルの人形劇を楽しんだ。五月の飯田市農協ホールでは、中国人形劇の至芸の公演があり、会場は開演を待つおとなから子供まで入りきれない程の観客であふれ、海外からの参加者も多

数見受けられた。音楽に合わせた踊る色鮮やかな天女の細やかな動きに、皆魅了され、繰り人形の老婆の仕草や、まるで本物のサルまわしを見ているかの様な巧みな糸さばきや、ひょうきんなサルの動きに会場内は拍手喝采。さすがは中国を代表する人形劇人達だと感心させられた。

又、八日に竜丘小学校で行なわれたラトビア共和国(ソビエト)国立リガ人形劇場による「魔法の三つの秘密」公演では、銀色にきらめく人形の動きに、ファンタジーの世界に引き込まれた様な感動を覚え、言葉は通じなくても理解し合える人形劇ならではのすばらしさを再確認させられた。

引き続き体育館でリゴンや竜映小唄等の踊りや、地区の婦人達の心尽くしのもてなしで盛大に交流会が行なわれた。

過日行なわれた地区実行委員会の反省会において各

会場の様子が報告され、どここの会場も大入り満員で大変な盛り上がりを見せたというところで、全体を通しても概ね成功であったと評価された。今年は特に大入りの観劇者かかなりの数を占めているが、この傾向は人形劇が単に子どもの娯楽であるとするカーニバル発足当所の一般的な見方が、過去の積み重ねを通して、大人にも受け入れられるひとつの文化として定着してきていることの表れであると考えられる。

カーニバルは今年でひとつの節目を過ぎ、来年以降新たな出発点に立ち向かっているが、今年の成功をステップにより大きな文化運動として成長していくことを期待したい。そして人形劇に接しながら育ってきた世代がこのイベントを支える力になるころ、カーニバルがどんな展開を見せるかが大変楽しみである。

ギフチョウとヒメギフチョウはいずれも年一回春の桜の咲くころ出現する美しい蝶です。春の女神ともいわれ、江戸時代には日本各地にみられた日本特産種です。

その発見は古くは奈良・平安時代に早くも衣裳や工芸品の文様として、デザイン化され使用されてきました。江戸時代になって研究がさかんになり、明治時代になってイギリス人ジョン・ヘンリー・リーチによって、その名が世界に広められました。

その後、環境の変化や乱獲により数・生息地が急激に減り、保護の必要が叫ばれてきました。



ギフチョウ
①50〜55mm ②本州 ③4〜5月
④カンアオイ

本年四月二十四日のマニアの大畑地区への車の乗り入れも二十四台をかぞえ、関西は広島・大阪・神戸・京都・愛知、関東は横浜・宇都宮東京等県外の車が三分の二をしめ、例年みられた美しい姿も今年は私にも二、三羽位しか見られなかった。

幸い、今年は飯田昆虫友の会の人達が上川路地区の協力を得て、自費で保護の看板をたてられ、その後竜丘自治会及び財産区にも協力をいただき、看板も多くなることができました。

近年、竜丘地区においても住宅建設が盛んに行なわれている。調べてみると十年前の人口は約五千人、世帯数約千三百戸。それが現在では人口六千八百人、世帯数千七百戸と大幅に伸びて来ている。それは数字の上からも宅地化が確実に進み、農地が虫食い状態を姿を消していることになる。

宅地にするのが出来る土地、それは優良な農地でもある。農地に変わり数年後には宅地になるであろう荒れた土地が広がりを見せ始めている現在、開発中の桐林クリーンセンター周辺、あるいは治水対策事業で土砂を取り除く予定地一帯、パイパス沿道、宅地化されたところある地区など様々な場所、効率的・有効な土地利用を押し進めて行く必要がある。元に戻す事は出来ないものである。

公民館事業も年々盛んに行なわれる様になって来ているがマンネリ化の傾向も一部に見受けられる。人口の急速な増加に伴い地域としての連なりも弱くなり、又、複雑多様化してきている要求に対応しきれなくなっている。公民館事業とは地域住民が自分達の手で創り出すものである。例年と同じ内容・取り組みではその事業の方向性も見えなくなり、いづれ公民館離れへとつながる。そうしない為にも今一度「公民館とは」「地域づくりとは」について話し合いの場を持ち社会教育の拠点としての公民館の果たす役割を、地域住民が明確に捉える必要がある。

大きく変わろうとしている現在、地域を見つめ直し将来の竜丘を見通せる「目」を持ちたいものである。

ワオツカでダンス

リガ人形劇団交流会

世界フェス人形劇カーニバルも、すばらしい実績を残して終りました。

竜丘でも各地区毎に上演されましたが、婦人団体としてお手伝いの出来た小学校での劇人との食事、交流の様子を書いて見ました。

ソビエトの国立リガ人形劇場が竜丘にと聞き、役員の方への様に対処したら話し合い、結局通訳の木下先生の御指導により料理の献立を決めました。

当日朝から学校に集まり皆様から御寄附を戴いた野菜、米、調味料、果物等を使い、素朴であるが心の籠った品が次々に出来上り、テーブルの上には花が飾ら

れ料理も色どりよく並べられ劇の終わるのを待ちました。

体育館では全員で民謡の方達がリゴン、竜映小唄を全員で踊り、そのあと会場に大きな姿を見せました。

十五人中女性が四名おられ色鮮やかな服を着ておりました。取材の方、テレビ局の方も多勢見え会場が一杯になった感じでした。

文化部木下さんの司会から始まり館長さんの歓迎の挨拶を木下先生が通訳され、リガの方達からも挨拶がありました。澤柳市議員さんのロシア語の歌なども御披露があり、だんだんに会

が盛りあがって食事も進み

ました。

竹笛に天の川、七夕祭又自分の願いごとを書いた短冊を飾って戴き、皆で七夕の歌を斉唱致しますとすぐリガの静かな民謡を唄って下され、私達も負けずに「一

週間、赤いサラファン」を大合唱致しました。

ワオツカ酒に酔ったのか婦人連の皆様の手を取りダンスが始まり賑やかにになりました。

途中でプレゼントの交換

があり、リガの民族人形を館長さんにくださり、記念に小学校に保管して戴く事に致しました。小さな美しい千代紙の折鶴を大きな手の中に贈呈。大事に持っている姿に陽気な人達であり又優しい気持ちの方ばかりと思えました。

最後に劇人側、公民館から終わりの挨拶があり、皆さんで手を合せてトンネルを作り、その中を大きな背を丸めて通り抜け、何度もサヨナラをして帰りました。

国籍は異なり言葉も異なるが、真心で接すれば通じ合う事がよく解りました。最後に婦人団体の皆様いろいろな面で御理解下さり御協力を深く感謝し、又此様な機会に恵まれた事を心にきざみ、良い思い出にしたいと思えます。

守ろう「春の女神」
ギフチョウの保護
上川路 井口正三

が食草のカリンアオイ等も多く、当地方の限られた生息地の一つです。特に上川路の蝶は孤立した個体群を形成しており、非常に特徴的であるためにマニアの注目の的となり、近年蝶の採集にとどまらず、幼虫から食草も持ち去る者があらわれ、絶滅のおそれさえあります。

公民館事業も年々盛んに行なわれる様になって来ているがマンネリ化の傾向も一部に見受けられる。人口の急速な増加に伴い地域としての連なりも弱くなり、又、複雑多様化してきている要求に対応しきれなくなっている。公民館事業とは地域住民が自分達の手で創り出すものである。例年と同じ内容・取り組みではその事業の方向性も見えなくなり、いづれ公民館離れへとつながる。そうしない為にも今一度「公民館とは」「地域づくりとは」について話し合いの場を持ち社会教育の拠点としての公民館の果たす役割を、地域住民が明確に捉える必要がある。

大きく変わろうとしている現在、地域を見つめ直し将来の竜丘を見通せる「目」を持ちたいものである。

公民館事業も年々盛んに行なわれる様になって来ているがマンネリ化の傾向も一部に見受けられる。人口の急速な増加に伴い地域としての連なりも弱くなり、又、複雑多様化してきている要求に対応しきれなくなっている。公民館事業とは地域住民が自分達の手で創り出すものである。例年と同じ内容・取り組みではその事業の方向性も見えなくなり、いづれ公民館離れへとつながる。そうしない為にも今一度「公民館とは」「地域づくりとは」について話し合いの場を持ち社会教育の拠点としての公民館の果たす役割を、地域住民が明確に捉える必要がある。

大きく変わろうとしている現在、地域を見つめ直し将来の竜丘を見通せる「目」を持ちたいものである。

古くから、人は希望を持って生きなければいけないと、言われています。私も全く同意見です。そして、二十才になっての夢・希望を書く様にと、記事を依頼されました。そこで、私の抱いている夢・希望という事で考えを書いてみようと思えます。私に最も近い夢・希望とは、志望大学への合格ですが、その事は、多少次元が異なるので、除こうと思えます。

て気付いた事です。今日までずっと私は、夢や希望とは、現在の自己を見直し、自己の信念を確立しその上に成り立つものだと思っていましたし、今でもそうです。しかし、現在

の自分はどうかと尋ねられると、極めて独りよがりの面が強く、自分を取り巻く環境にあまりにも無知で、無頓着ではなかったかと思えます。正直、自分はしっかりとした考えを持っていま

の関心の薄さがよい例です。今、私が最も必要があるのは、心身共に不安定で流され易い自分を回復する事だと思えます。

大変暗くなってしまいましたが、夢・希望というのは、やはり自分自身を知らなければいけない。

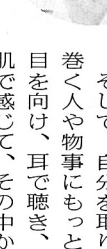
そして、自分を取り巻く人や物事にもっと目を向け、耳で聴き、肌で感じて、その中から見つけてゆくものだと思います。そして私はそれを最もしやすい立場にあります。

二十才になった今、もっと心を大きく開き、社会を見つめ、しっかりと勉強してゆきたいと思っています。

したが、周囲の事にすら気が付かず自分を、見直す事もせず、ただ目の前の夢・希望のみを見て来ていると思ってしまうていたのです。前にあげた、地元地域へ

夢を抱こう 二十才を迎え

桐林 久保田幸倫



が、真心で接すれば通じ合う事がよく解りました。最後に婦人団体の皆様いろいろな面で御理解下さり御協力を深く感謝し、又此様な機会に恵まれた事を心にきざみ、良い思い出にしたいと思えます。

私は、現在青年会に入っている事から、地元地域の現状に対して、強い関心を持っています。その中には今まで全く気付かなかったような、様々な問題点や地

が、真心で接すれば通じ合う事がよく解りました。最後に婦人団体の皆様いろいろな面で御理解下さり御協力を深く感謝し、又此様な機会に恵まれた事を心にきざみ、良い思い出にしたいと思えます。

が、真心で接すれば通じ合う事がよく解りました。最後に婦人団体の皆様いろいろな面で御理解下さり御協力を深く感謝し、又此様な機会に恵まれた事を心にきざみ、良い思い出にしたいと思えます。

が、真心で接すれば通じ合う事がよく解りました。最後に婦人団体の皆様いろいろな面で御理解下さり御協力を深く感謝し、又此様な機会に恵まれた事を心にきざみ、良い思い出にしたいと思えます。

が、真心で接すれば通じ合う事がよく解りました。最後に婦人団体の皆様いろいろな面で御理解下さり御協力を深く感謝し、又此様な機会に恵まれた事を心にきざみ、良い思い出にしたいと思えます。

昭和63年度 敬老会

今年もお会いできました

—本年より75才以上の方々に—

去る九月十五日(敬老の日)に、竜丘小学校体育館において、「竜丘地区敬老会」が行われた。当地区では毎年十月十日の祝日に行われていたが、本年からは公民館の他事業とのかねあひから、文字通り敬老の日に行われた。当日は、天候にも恵まれ七十五才以上のお年寄り、百六十名余りの出席を得た。昨年までは、七十才以上の方を招待していたが、元気なお年寄りも増え、七十才くらいでは、まだまだ年寄りではない、との声もあり五才引上げとなった。なかには、敬老会を楽しみにしていたが、今年は通知がなく残念がっていた人もいたようだ。席上、八十才になられた方々へのお祝い、記念品の贈呈があった。

お茶のみ、おやつを食べる中、小学生の代表による作文の朗読や、プラスチックバンド、園児の鼓笛隊の発表をカメラにおさめ、あるいは双眼鏡で見入る人もいた。また、吉沢奈美さん(竜丘小四年生)による詩吟や、各分館の民謡クラブによる踊りの披露に、おもしろいおもしろい、はなが飛んだりで、拍手喝采であった。夕食をささみ、午後からは早稲田人形保存会による人形劇を観劇し「敬老の日」の一日を楽しまれた。昨今、高齢化社会が叫ばれているが、お年寄りが今の竜丘をどのように見ているか、あるいは、これから先をどう考えているのかわかる時であるかもしれない。お年寄りがこれからもより豊かに楽しく暮らして、来年より多くの方が元氣よく出席してください。



く出席してください。望む。

大望の集会所

常会員の手づくりで新築

—時又十五常会—

時又十五常会では、今度の集会所が新築され、常会員の心掛り所として、常会の会合等に活用されています。折から、下久堅田中様から、工場新築により、旧工場資材一式を提供して頂けるお話しがあり、三月末常会で検討した結果、思い切った新築しようという事となり、建設委員会を中心に十五常会の皆さんの奮闘を御紹介いたします。

グループ紹介

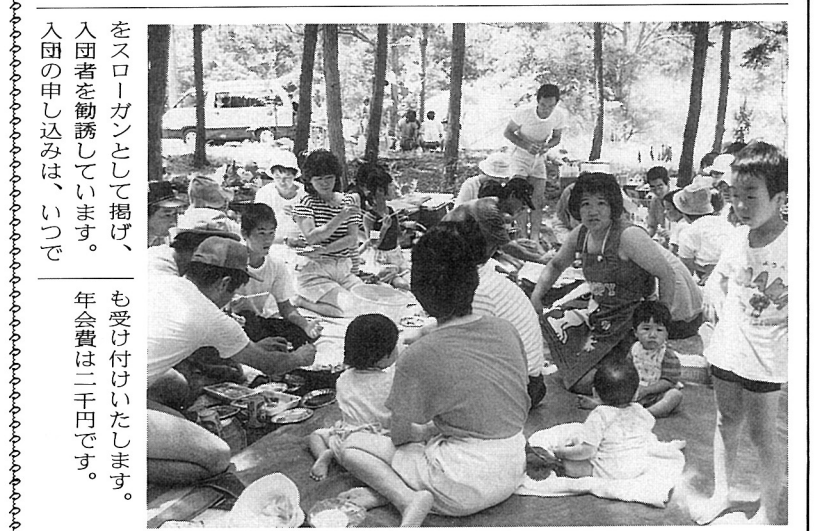
時又壮年団は、

時又地区に在住する年齢二十八歳から四十歳のバイタリティーにあふれる男達の集まりです。四十六名の全団員が、団員拡大と維持運営を担う総務部、灯ろう流しや初午裸祭りなど重要な役割を受け持つ文化部、団員相互の親睦を図る為にレクリエーション等を計画実施する厚生部、更に、地域社会への貢献を目的とした事業を行なう社会部のいずれかの部に属して活躍しています。

自りも楽しみ

地域の中へ

時又壮年団々長 下平 拓司さん
協力しています。一方、父親としての自覚を持ち、家庭を大切に親子一緒に楽しむ機会をとうとうとして、夏休みの一日、和知野川へ川遊びに行きました。男達が土を掘り、かま



緒に楽しみました。夏の終わりに、ウェストンで納涼花火大会もしました。親子そろっての楽しい花火、そして焼肉、生ビールは格別でした。このように、地味ながらも受け付けたいです。年会費は二千元です。

鉛筆について

今回の鉛筆かっいでは、桐林の吉沢奈美さん(小六)に取材をお願いしました。八月二十一日に三重県鈴鹿市で行われた、中日本青少年吟道大会での独吟コンクールで第二位になりました。



この大会は、長野、三重、岐阜そして愛知県の四県の中日本地区の大会で、県大

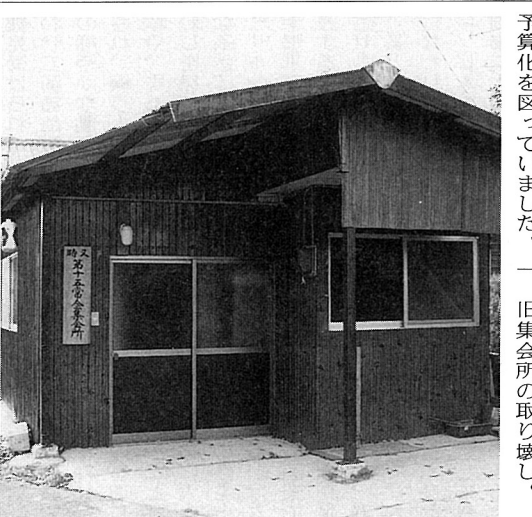
詩吟で二位になりました

桐林 吉沢 奈美さん

水曜日に桐林の林住恵さん(雅号 侑風)の教場に、「みんなと一緒にやる事が楽しい」と、また県代表として出場することが決まると、「はずかしかったけれど、うれしかった。」と話してくれました。

「前はよく眠れたが、自分の二、三番前になるとドキドキしたけれど、一生懸命大きい声を出した。はずかしかったけれど、大きな声を出さないと、賞はいれないと思った。」とも話してくれました。

いま小学校六年で来年は中学校ですが、中学へ入っても続けて行きたいと思っている。今後は、今後も続けていってほしいと思います。指導にあたっては、林先生は、自宅で竜丘支部青少年第二教場を開き現在保育園児から中学生まで十四名の生徒を教えています。毎水曜 五時から一時間教えていますが、「子供なので、遊んでいることも多いので、大きい声の出る時もあるが、天心爛漫などところがあり、教えることは苦勞にもならない。」と話してくれました。



十五常会では、それまで使用して来た旧集会所の屋根が老朽化しており、取り替える時期を迎えて、その予算化を図っていました。四月三日(日) 朝七時から、夕方までかかり、田中宅で工場の解体及び運搬作業。四月十日(日) 旧集会所の取り壊し。

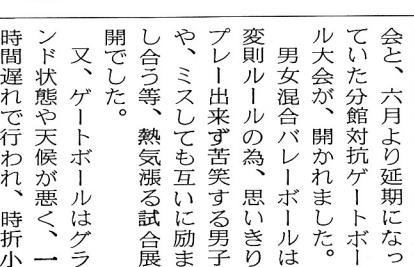
基礎の設置、鉄骨の組立。四月十七日(日) 上棟を行い、終了後お花見。五月八日(日) 壁・サッシの取付・木工事業の作業。五月十五日(日) 外壁・内壁・天井の取り付作業。(完成までもう一息。五月二十二日(日) 雨の中、壁紙はり等、細部の作業、御苦労様でした。五月二十九日(日) 壁紙はりの続き。清掃・片付け作業。そしてこの日完成！と、約二ヶ月間の短い期間、ほとんどの日曜日、集会所建設の為に費して頂きました。

常会長の土屋さんは、この間の思い出や今後のについて「常会員の皆さんには大変御無理をお願いしましたが、ケガもなく無事仕事を終える事が出来て良かった。この集会所は、一人ひとりの汗の結晶であり、全員が心を一つにして、作り

六月には、盛大に祝賀会が開かれ、思い出話しが花を咲かされました。

勝時又一、三位桐林中央。九月十一日には、分館対抗男女混合バレーボール大会が開かれ、六月より延期になっていた分館対抗バレーボール大会が、開かれました。男女混合バレーボールは変則ルールのため、思いきりプレー出来ず苦笑する男子や、ミスしても互いに励まし合う等、熱気漲る試合展開でした。又、ゲートボールはグラウンド状態や天候が悪く、一時間遅れで行われ、時折小雨が降る中、中断もせず黙々とプレーし、早いテンポで進みました。結果は次の通りです。

分館対抗男女混合バレー 優勝桐林、準優勝駄科、三位長野原。分館対抗ゲートボール 総合優勝長野原男子部。優勝上川路、準優勝長野原、三位駄科女子部。優勝長野原、準優勝上川路、三位時又



対抗野球大会が開かれました。各分館で予選を勝ち抜いて来たばかりで、好プレー続出の試合でした。必死の試合の中にも、珍プレーに笑い声や、ヤジの飛び交う一幕もありました。結果は次の通りです。優勝駄科・下平北、準優勝上川路、三位時又

盆野球「好プレー」に「熱い声援」

盆野球「好プレー」に「熱い声援」